

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成22年度取組実績」

12 社団法人東京都看護協会

22年度の具体的取組	実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(3) 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現	
③ 介護・高齢者に対する支援	
<p>ふれあい看護体験 及び看護フェスタ開催</p> <p>看護週間に、男女を問わず、都内の医療・福祉施設で、看護や介護を体験してもらいます。併せて新宿駅イベント広場において看護フェスタを御実施し健康チェック・看護相談・高齢者体験等を実施します。</p>	<p>・ふれあい看護体験 H22年5月9日～17日 受け入れ施設76施設 体験者212名</p> <p>・看護フェスタ2010 H22年5月7日 新宿駅西口イベント広場 参加者1,238名 (延べ4,570名)</p>
2. 人権が尊重される社会の形成	
(2) 生涯を通じた男女の健康支援	
ア 出産・育児準備支援等	
<p>新しい生命を夫婦で心豊かに迎え、子育てを楽しみ、子どもの成長とともに親もまた成長してほしいという願いから都民を対象に以下の事業を実施します。</p>	
<p>(1) 両親学級 妊娠・出産・育児に関する正しい情報や夫の役割などをわかりやすく伝え、出産、育児に対する不安を解消します。</p>	<p>毎月第2・第4土曜日に実施 参加者 合計444組</p>
<p>(2) すくすくフェスタ すくすくフェスタを2回開催し、併せて東京マタニティフェスタを実施する。 両親学級に参加した出産後の親子を対象に子育て支援事業としてイベントを開催し、産後の相談・育児相談・ベビーマッサージ・月齢に合ったお遊びなどを実施します。</p>	<p>6月19日(土)、11月20日(土)に実施 参加者 39組</p>
イ 各年代に応じた健康支援及び性教育	
<p>まちの保健室(地域住民健康支援事業)</p> <p>都民の方々が、心と身体について、気軽に相談できる場所として「まちの保健室」を設置し、疾病予防と健康増進を図り、健やかな暮らしを支援します。</p>	<p>飯田橋ラムラ、都立中央図書館、神楽坂ふれあい広場、介護のこつて、その他地区での駅や公園・公民館等で健康チェック・健康相談などを実施 年間 50回実施 参加者 合計3,810名</p>
<p>エイズ・ピア・エデュケーション 性的接触から感染する機会が多いエイズ等の感染症や望まない妊娠を予防するため、同世代の仲間同士でエイズのことを考える「エイズ・ピア・エデュケーション」により、青少年への正しい知識・予防行動促進等の普及啓発を実施します。</p>	<p>エイズピアエデュケーターの養成 受講者15名 中学・高校等へ訪問し、エデュケーション実施10回 ・受講者 合計860名</p>

1 2 社団法人東京都看護協会

2 2 年度の具体的取組	実績
3. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1) 教育・学習の充実	
ア. 学校での男女平等	
<p>男子校も含め、看護職をめざす高校生を指導する進路相談担当教員を対象に、「看護の仕事とは」「看護系大学・看護専門学校の教育内容」について説明会を年1回実施します。</p>	<p>6月26日（土）実施 参加者29名</p>